



赤ちゃんの視力は3歳で大人並み

生まれたての赤ちゃんの脳はほとんど発達していないので、視力もほとんどありません。一般的に1歳で0.2～0.3 2歳で0.5～0.6 3歳までに1.0になります。

Q 人の一生で目が一番よく見えるのは？

a

6歳(幼稚園児)

b

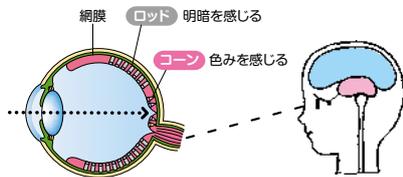
10歳(小学生)

c

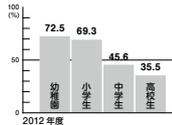
15歳(高校生)

A 正解は a 視力が最も良いのは幼稚園児です

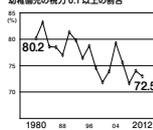
その後成長する程どんどん視力が落ち、高校生になると視力1.2以下の人が半数以上になります。1980年の調査では僅かに小学生の視力が上回っていますが、現在は6歳が視力のピークと専門家は見ています。



視力 0.1 以上の割合



IT 機器と視力の関係



3歳になると色彩がはっきり見える

脳がまだ発達していない赤ちゃんの目は動くものをモノクロでぼんやり見えています。その後、徐々に眼の網膜にある色彩を見分けるコーンが発達し、世界をカラーで見えるようになります。3歳で視力も色覚も整い、大人並みの目になります。

園児は小さなものが見えない？

園児向けの本や小学1年生向けの本は文字が大きいので視力が低いと思いがちです。しかし、文字を大きくしているのは知力が生まれる大人脳(大脳新皮質)が発達途中にあるためです。子供の目は大人よりはっきり見え、絵の細部をしっかりと見てとらえ、子供脳と会話しています。

園児の視力も年々低下している

視力は一旦下がると上がることはありません。園児をピークにして下がるだけです。さらには園児の視力も30年前に比べると、年々確実に下がっています。なかでも新しいゲーム機が発売された、1983年、1989年、1996年、2004年の落ち込みが際立っているのは偶然ではないでしょう。

視覚デザイン研究所の絵本は細部の描写にこだわっています

画面の中の小さなシーンを見逃さないように、様々なシーンをしっかり描き、見る力を育てています



小さなモモンガ兄弟がドローンに興味を示しています



1匹は地上で操縦、もう1匹はドローンと並んで頭にカメラをつけて飛んでいます

